

行政コスト計算書(経常的な費用と収入) 令和2年4月1日～3年3月31日

1年間の経常的な行政活動によるコストと受益者負担である使用料・手数料などの収入を示しています。

単位：百万円

	一般会計等	全体	連結
経常費用	51,227	74,416	86,897
1.業務費用	32,126	38,383	41,722
(1)人にかかるコスト	10,235	10,707	12,753
職員給与、退職金など			
(2)物にかかるコスト	21,548	26,859	27,997
光熱水費、修繕料、委託料、物品購入費など			
(3)その他の業務費用	343	817	972
借入金の利子など			
2.移転費用	19,101	36,033	45,175
補助金、社会保障給付など			
経常収益	3,142	6,284	6,802
1.使用料・手数料	1,123	4,163	4,432
2.その他	2,019	2,122	2,370
純経常行政コスト (経常収益-経常費用)	△48,085	△68,132	△80,094
1.臨時損失	18,515	18,538	18,538
2.臨時利益	64	69	69
純行政コスト C	△66,536	△86,601	△98,563

純資産変動計算書(純資産の増減) 令和2年4月1日～3年3月31日

貸借対照表中の純資産(資産から負債を差し引いた残余)が1年間でどのように増減したかを明らかにするものです。

単位：百万円

	一般会計等	全体	連結
前年度末純資産残高	488,367	505,099	514,198
1.純行政コスト C	△66,536	△86,601	△98,563
2.調達した財源	69,045	88,749	101,509
市税、国県補助金など			
本年度差額	2,509	2,149	2,947
本年度純資産変動額	2,033	1,695	2,500
本年度末純資産残高 B	490,400	506,794	516,698

「純資産比率(純資産合計/資産合計)」は、連結ベースで85.3%、「将来世代負担比率(地方債残高/(有形固定資産+無形固定資産))」は、連結ベースで5.8%となっています。これらの数値から、将来世代への負担が少なく、健全な財政運営であるといえます。

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

統一的な基準による財務書類を公表します

財務課(☎62-1006) 1004552

市では、総務省より示されている統一的な基準に基づき、民間企業のように発生主義、複式簿記の考え方を取り入れた4つの財務書類を作成しています。市がこれまで築いてきた資産を含めた財政状況を報告します。

対象となる会計の範囲

連結 土地開発公社、社会福祉協議会、衣浦東部広域連合、刈谷知立環境組合、愛知県後期高齢者医療広域連合

全体 特別会計、企業会計

一般会計等 一般会計

貸借対照表(バランスシート) 令和2年度末の残高

各表中の **A B C** はそれぞれ同数値であり、各表の相関関係を示しています。

年度末現在の資産や債務を表しています。

単位：百万円

	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結
資産の部				負債の部		
市が保有している財産です。				次世代が負担する借入金(市債)など、将来返済する必要がある債務です。		
1.固定資産	490,287	564,229	574,527	負債合計	18,880	86,493
(1)有形固定資産	461,306	544,474	553,379	(うち地方債残高)	(10,074)	(31,102)
(2)無形固定資産	652	2,560	2,569	純資産の部		
(3)投資その他の資産	28,329	17,194	18,578	これまでの世代がすでに負担した金額であり、将来返済する必要がないものです。		
2.流動資産	18,993	29,058	31,005	純資産合計 B	490,400	506,794
(1)現金預金 A	10,254	19,889	21,769	負債・純資産合計	509,280	593,287
(2)財政調整基金	8,410	8,410	8,410			
(3)その他	329	759	827			
資産合計	509,280	593,287	605,532			

市民1人あたりの資産、負債および純資産(連結ベース)
(令和3年3月31日現在 人口152,673人)

資産397万円

負債58万円

純資産339万円

資金収支計算書(現金の増減) 令和2年4月1日～3年3月31日

1年間の現金の増減と残高を示しています。また、その収支を性質に応じて、業務活動収支、投資活動収支、財務活動収支に区分して表示することで、どのような活動に資金が必要とされているかを表します。

単位：百万円

	一般会計等	全体	連結
1.業務活動収支	10,239	11,340	12,921
行政サービスの実施にかかる資金収支			
2.投資活動収支	△7,270	△7,737	△8,261
固定資産の取得や売却にかかる資金収支			
3.財務活動収支	△25	△1,143	△1,523
借入や借入金返済などにかかる資金収支			
本年度資金収支額	2,945	2,461	3,138
前年度末資金残高	5,461	15,579	16,780
本年度末資金残高	8,406	18,040	19,920
本年度末歳計外現金残高	1,849	1,849	1,849
本年度末現金預金残高 A	10,254	19,889	21,769

連結ベースでは、業務活動収支の129.2億円から投資活動収支の固定資産取得などに82.6億円と、借入金(市債)の返済・新規借入の差額15.2億円を差し引きした結果、資金が31.4億円増加しました。また、歳計外現金残高を合算した本年度末現金預金残高は217.7億円となりました。

業務活動収支と投資活動収支の合計(プライマリーバランス)は黒字であるため、持続可能な財政運営であるといえます。

かきつばたミニテニス交流大会

市レクリエーション協会(☎63-6040)

ミニテニスは日本で行われているニュースポーツの一つです。バドミントンコートで、テニスラケットを小さくした専用ラケットを使ってビニール製の大きなボールを打ち合い、若者からシニアまで気軽に楽しむことができるスポーツです。

時 4月10日(日) 9時15分(8時30分から受付)

場 ウィングアリーナ刈谷

種目 ▶混合ペア…フリー、40歳代、50歳代、60～64歳、65～69歳、70歳以上

▶女子ペア…フリー、50歳代、60歳以上

対 審判ができる16歳以上で市内在住、在勤、在学または協会の認めた人

¥ 1,000円(保険料込・当日集金)

申 3月6日(日)までに、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、種目を FAX(63-6889)、郵送または直接、ウィングアリーナ刈谷内市レクリエーション協会(〒448-0011 築地町荒田1・☎水曜)へ。

※締切後キャンセル不可

